



# 多様な人材の地方議会への 参画促進

全国市議会議長会

会長 清水 富雄

(神奈川県横浜市会議長)

地方自治・地方議会の関係の皆様におかれましては、少子高齢化、人口減少、災害の多発など、地方自治体が直面する課題と真摯に向き合い、新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、住民福祉の向上、魅力ある地域づくりに向け、ご尽力されておりますことに深く敬意を表します。

地方議会には、経済社会の急速な構造変化を背景に多様化する民意を集約し、政策的に反映することが期待されています。しかしながら、最近の地方議会議員選挙における投票率の低下、無投票当選の増加、議員のなり手不足の状況は、住民自治の根幹に関わる深刻な問題と受け止めています。

来年春には4年ぶりに統一地方選挙が実施されます。若者や女性、会社員といった多様な人材の地方議会への参画を促進し、活力ある地方議会を実現するため、地方議会の意思決定機関としての位置付けと議員の職務を法律上明確化するとともに、兼業禁止要件の緩和、立候補に伴う休暇保障等の労働法制の見直し、政治分野における男女共同参画の推進、議員報酬・年金等の処遇改善、地方議会のデジタル化などが喫緊の課題となっています。本年1月に発足しました第33次地方制度調査会は、社会全体のデジタル・トランスフォーメーションの進展及び新型コロナウイルス感染症対応で直面した課題等を踏まえた地方制度のあり方が主要な諮問事項とされておりますが、これら地方議会の課題に関しても精力的な調査審議を期待したいと思います。

全国市議会議長会は、昭和7年5月21日、石川県金沢市で開催された創立総会において発足し、本年5月に創立90周年を迎えることとなりました。これを機に、改めて心を引き締めて、全国815の市区議会が地方自治の発展のために力を結集して、地方議会が直面する諸課題の解決に全力で取り組んでまいります。

近年、豪雨・地震等の大規模災害が頻発しており、一般財団法人全国市町村振興協会が実施されている災害対策関連事業は、被災市町村にとって、大変勇気づけられるものとなっています。また、サマージャンボ（市町村振興宝くじ）及びハロウィンジャンボ（新市町村振興宝くじ）の収益は、市町村の行財政運営にとって貴重な財源であります。今後とも市町村に対して力強い支援の継続をお願いいたしますとともに、貴協会の更なるご発展を祈念申し上げます。